

「北海道大好きな旅」

その2

essay

GWを十勝で過ごす

江別製粉(株) 企画課
ながお みちこ

毎週どっかこっかへ出かける「北海道大好きな旅」。時には北海道を離れ、時には隣町へと出かけ、おいしい食べ物や貴重な道具や建物、そして優しい人々に触れあうこの旅は、どんなブランド品よりも私の心を引きつけ、わくわくさせる。

さてさて、今年のゴールデンウィーク「思いっきり旅しよう！」と心に決め、前半は大分の安心院町で、後半は十勝で過ごした。

安心院町での話はまたの機会に取っておいて、今回は後半に過ごした十勝のお話をしましょう！

◆ ◆ ◆
私がゴールデンウィーク

に十勝で過ごすのは本当に珍しい。だって、この時期の十勝は寒いのだ。雪が降ることだってある。だからこそ「春を感じたい！」私は例年道南や道外で過ごしていた。今年は春が早かったこと(温暖化?)、そして前半に大分県の安心院町で春を満喫してきたこともあって、後半は休息も兼ねて生まれ故郷の十勝でのんびり過ごすことにした。

◆ ◆ ◆
三日は天気もよく、「最高のドライブ日和だあ！」なんてうきうきして一〇時頃自宅を出たのもつかの間、長沼からもう牛歩状態。通常二時半で十勝入りするはずが、大



ながお みちこ さん

藤女子短期大学卒
平成4年ホクレン入会
平成7年より6年間、PR誌
「Green」の編集業務を担当
現在は江別製粉(株)企画課勤務

渋滞で、なんと七時間もかかった。

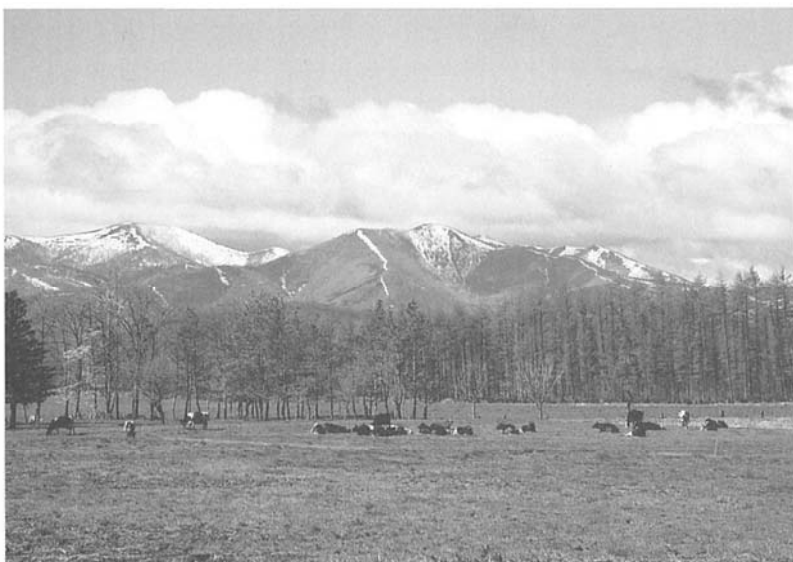
とっても疲れたのでコーヒーでも飲んで…と、少し遠回りをして行き付けのファームレストランに寄った。オーナーやアルバイトの人とひさしぶりの再会を喜んだ後、ぼーっと窓から見える景色をぼんやり眺めながら小一時間をここで過ごした。音楽や景色、そしてオーナーの絶妙なトークが疲れた身体と気持ちとを和ませる…本当に心地良い贅沢な時間を満喫した。

へなちよこ気分も回復し、今回お世話になる「つつちゃん」と優子の牧場のへやへ。新得町上佐幌で酪農業を営む湯浅さんに出会って何年にな

るだろう。一度取材で伺ってから、ハマってしまった…。

親友のような、親戚のようないや両親のような感じさえする湯浅夫妻、不思議なあなたかさを感じるこの「へや」は、私に多くの宝物をくれた貴重な場所なのだ。だから時々ここを訪れ、自然や動物、人と出会って心身ともにパワーを充電する。

四日間、自由気ままに過ごした。朝早く起きてわんちゃんとの散歩に出かけたり、みんなが働いている牛舎を覗いたり、時にはぶらっと散歩に出たり。夜に満天の星を首が痛くなるまでずーっと眺めたり、雨の日はお茶でもしながら本を読んだり、新得やその近辺



散歩していて見とれた景色。日高連峰がくっきり見えます！

をドライブしたり…

そして、ここ新得で出会った方との偶然の再会があったり、友人と合流したり、のんびりしながらも刺激的な毎日を過ごし、あつという間に四日間が過ぎてしまったのだった。

最終日はいつになく快晴だった。帰りはつつちゃんと優子さん、息子さんののぶさんとあやちゃん、研修生のまきちゃん、そして二日間一緒に過ごしたお客様のやまちゃんとかめちゃんに見送られ、出発した。

また、いつもの事ながらホロッときた。新得にもうちよつといたいと思った。…だから、またみんなに会いに

足を伸ばそうと思う。

◆ ◆ ◆
五歳から一四歳までの間を過ごした十勝は、私の故郷である。今は大好きだが、正直言うと小学の頃は良いとも悪いとも感じずに過ごしていたし、中学の頃は「こんな田舎早く出たい！」という気持ちでいっぱいだった。おしゃれに敏感な年頃、都会から帰ってくる友達のお兄ちゃん・お姉ちゃんや親戚のおじちゃん・おばちゃんに会ったたびに、札幌や東京の様子を聞いては胸をドキドキさせた。とにかく、都会への憧れでいっぱい。幸せに生活するということは、都会でゴージャスな生活をする事なんだと思っ



2日間一緒に過ごした、やまちゃんとかめちゃん



4日間お世話になったファームインの手作り看板。かわいいでしょ！

ていたのだ。

今は、「田舎暮らしも、結構いいかもしれないな」そう感じている。農家さんに伺うと、その食べ物のおいしさへの感動はモチロン、緑の豊富さやおじいちゃんが創った納屋、おばあちゃんがつくった漬物、イヌとネコがじゃれあう姿に興味がいき、何よりも心があたたかくなるような感動に出会うことができるからだ。

◆ ◆ ◆

農の魅力は生産することだけではない。もっともっと、都会の人が農を肌で感じるような場所が田舎にもあって欲しいと願ってやまない。そうすれば、農村の魅力をダイレ

クトに伝えられるし、農畜産物への愛着も自然と湧いてくると思うからだ。交流から生まれる信頼や安心感は、何にも変えがたい貴重な財産となるに違いない。

私も田舎が嫌だったけれど、今は田舎に生まれ育ったことを誇りに思う。それを教えてくれたのは言うまでもなく、今まで出会った農家さんであり、この豊富な自然環境であり、それを貴重に思う都会の人なのだ。

これからは北海道は実りの秋。畑へ行つて素敵な人と、おいしい食べ物に出会うことにしましょう。さてさて、次はどこへ出かけましょうか…